

2025年度 熱帯医学研究拠点 一般共同研究

海外共同研究 1,000千円上限 国内共同研究500千円上限

番号	課題名	氏名	所属機関・職	対応教員	新規継続	何年度～継続
2025-lppan-01	住血吸虫保存系の開発	王寺 幸輝	奈良県立医科大学・准教授	濱野 真二郎	継続	2024～
2025-lppan-02	Salmonella Paratyphi C による腸チフス感染モデルと持続感染因子	森田 昌知	国立感染症研究所 細菌第一部・主任研究官	児玉 年央	継続	2024～
2025-lppan-03	ガーナにおけるフランベジア調査研究に向けた遺伝子配列解読プラットフォームの構築	和田 崇之	大阪公立大学 大学院生活科学研究科／大阪国際感染症研究センター・教授	有馬 弘晃	継続	2024～
2025-lppan-04	病原体を媒介しない蚊によるフィラリア症制御に関する研究	福本 晋也	酪農学園大学獣医学群・教授	濱野 真二郎	継続	2024～
2025-lppan-05	ヒト組織由来腸管オルガノイドを用いた腸管病源性機構の解明	奥崎 大介	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター・特任准教授	児玉 年央	新規	
2025-lppan-06	<i>Babesia bovis</i> スフェリカルボディータンパク質の局在・機能解析	麻田 正仁	帯広畜産大学原虫病研究センター・准教授	坂口 美亜子	新規	
2025-lppan-07	バクテリオファージを用いた革新的なXDR チフス菌感染症治療法の開発	小島 新二郎	国立感染症研究所・研究員	日吉 大貴	新規	
2025-lppan-08	Functional analysis of GEAP36 protein with single amino acid substitution and mechanism of GEAP36-mediated penetration of male gamete through the parasitophorous vacuolar membrane.	Li Zheng	China Medical University・Associate Professor	金子 修	新規	
2025-lppan-09	centrin 遺伝子欠損リーシュマニア弱毒生ワクチンによる免疫記憶T細胞の形成・維持機構の解明に向けた研究	井上 信一	長崎大学・准教授	濱野 真二郎	継続	2024～
2025-lppan-10	肝内期マラリア原虫の宿主特異性メカニズムの解明：宿主応答の包括的解析	荒木 球沙	国立感染症研究所・主任研究官	中前 早百合	新規	
2025-lppan-11	Development of Transgenic Plasmodium coatneyi Parasites for CerebralMalaria Drug Screening Using Positron Emission Tomography	Benoit MALLERET	National University of Singapore・Assistant Professor	金子 修	新規	
2025-lppan-12	膵炎ビブリオの運動性が病原性に与える影響	寺島 浩行	金城学院大学・准教授	児玉 年央	新規	
2025-lppan-13	Simian malaria in Sri Lanka: Potential zoonoses	Rajika L. Dewasurendra	University of Colombo・Scientific Assistant	金子 修	新規	
2025-lppan-14	SFTS ウイルス感染細胞における麻黄湯の抗ウイルス効果	藤兼 亜耶	福岡大学 医学部 総合診療学講座・助教	高松 由基	新規	
2025-lppan-15	メトホルミンによる抗原特異的T細胞依存的マラリア感染防御機序の解明	都田 真奈	長崎大学 薬学部・教授	由井 克之	新規	
2025-lppan-16	次世代型組換えウイルスベクターを用いた熱帯熱マラリアワクチンの細胞性免疫応答の解明	山本 祐太郎	金沢大学 医薬保健学域薬学系 ワクチン・免疫科学研究室・助教	水上 修作	継続	2024～
2025-lppan-17	原虫認識の分子基盤と生理学的意義の解明	石塚 茂宜	佐賀大学 医学部 分子生命科学講座免疫学分野・助教	見市 文香	新規	
2025-lppan-18	Serological and molecular epidemiology of Dengue Virus (DENV) and Chikungunya Virus (CHIKV) infections in Sri Lanka during the period of 2025-2026	Menaka D. Hapugoda	University of Kelaniya・Professor	森田 公一	新規	
2025-lppan-19	天然物メタボロミクスを活用した新規抗マラリア化合物の探索	久保 美和	徳島文理大学 薬学部・教授	宮崎 幸子	新規	
2025-lppan-20	交尾が誘導するネッタイシマカ雌の生体応答の解明	佐藤 朝光	福岡大学・教授	二見 恭子	継続	2024～
2025-lppan-21	赤痢アメーバの寄生適応におけるブレセニリン相同タンパク質の機能解明	牧内 貴志	東海大学 医学部 基礎医学系 生体防御学領域・講師	見市 文香	新規	
2025-lppan-22	原虫鉄利用を標的とした内臓型リーシュマニア症治療薬の開発	後藤 康之	東京大学 大学院農学生命科学研究科・教授	稲岡健ダニエル	新規	
2025-lppan-23	The molecular mechanism of Plasmodium berghiei IMC1g-IMC1j protein in regulating ookinete conversion and invasion through the PHIL1 complex.	Zhu Xiaotong	China Medical University・Professor	金子 修	新規	
2025-lppan-24	Identification of essential genes related to Plasmodium knowlesi red blood cell invasion	Nattawat Chaiyawong	Mahidol University・Faculty member	金子 修	新規	
2025-lppan-25	結核菌の硫黄代謝メカニズムの解明	松尾 祐一	大分大学医学部環境予防医学講座・助教	北 潔	継続	2023～
2025-lppan-26	マラリア原虫と感染赤血球の膜脂質の微細局在とその機能の解明	藤田 秋一	鹿児島大学共同獣医学部・教授	金子 修	継続	2024～
2025-lppan-27	熱帯病を対象とした創薬開発を指向した微生物資源のケミカルバイオロジー	荒川 賢治	広島大学大学院 統合生命科学研究科・教授	水上 修作	継続	2024～
2025-lppan-28	母子連関に注目した子への赤痢アメーバ感染抵抗性付与の基礎的検討	國村 和史	九州大学 生体防御医学研究所 免疫遺伝学分野・准教授	見市 文香	新規	
2025-lppan-29	Persistence of immunological memory to malaria infection in the absence of transmission	Maria Lourdes Macalinao	Research Institute for Tropical Medicine(RITM-DOH)・Science Research Specialist II	由井 克之	継続	2024～
2025-lppan-30	歯周病菌の病原因子ジンジバインおよびアドヘジンの作用解析と精製系確立	中山 真彰	岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 口腔微生物学分野・准教授	有馬 弘晃	新規	
2025-lppan-31	マラリアにおける免疫記憶抑制－IL-27 依存的細胞死のメカニズム解明	木村 大輔	神戸女子大学大学院健康栄養学研究科・教授	由井 克之	新規	
2025-lppan-32	オートファジー関連因子を標的としたシャーガス病の新規治療薬の開発	彦坂 健児	千葉大学大学院 医学研究院・准教授	稲岡 健ダニエル	継続	2024～

2025年度 熱帯医学研究拠点 シーズ研究発掘課題

100千円上限

番号	課題名	氏名	所属機関・職	対応教員	新規継続	何年度～継続
2025-Seeds-01	Serological and molecular detection of Toxoplasma gondii and associated risk factors at reproductive-age women in Nepal	Kishor Pandey	Tribhuvan University・Associate Professor	有馬 弘晃	継続	2023～
2025-Seeds-02	性感染症拡散メカニズムの解明と予防戦略のためのネットワーク解析	守田 智	静岡大学 工学部 数理システム工学科・教授	伊東 啓	新規	
2025-Seeds-03	亜熱帯植物・海洋生物等の天然資源由来の新規抗マラリア活性成分の探索	松浪 勝義	広島大学 大学院医系科学研究科・教授	金子 修	継続	2023～
2025-Seeds-04	ヒトiPS細胞由来肝オルガノイドを用いた肝細胞期マラリアモデルの構築	片上 幸美	信州大学 医学部 公正研究推進講座・助教	水上 修作	新規	
2025-Seeds-05	ケニアにおける、RTS,S/AS01 マラリアワクチン効果評価のためのTestnegative症例対照研究	高 勇羅	Karolinska Institutet・Affiliated to Research	加賀谷 渉	新規	

2025年度 熱帯医学研究拠点 研究集会または人材育成・研修などの取組

500千円上限 外国旅費を含む国際研究集会または人材育成・研修などの取組は、1,000千円上限

番号	課題名	氏名	所属機関・職	対応教員
2025-A-01	第57 回ビブリオンボジウム	飯田 哲也	大阪大学微生物病研究所・教授	児玉 年央
2025-A-02	医学公衆衛生学研究のための倫理に関する国際セミナー	平山 謙二	長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科・教授	木原 毅
2025-A-03	日本顧みられない熱帯病アライアンス・ネットワークの維持管理と国際シンポジウムの開催	吉岡 浩太	長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科・准教授	金子 聡

2025年度 熱帯医学研究拠点 海外拠点連携共同研究

1,000千円上限 ベトナム拠点連携共同研究は1,000千円上限、ケニア拠点連携共同研究は1,500千円上限

番号	課題名	氏名	所属機関・職	対応教員	新規継続	何年度～継続
2025-Kyoten-01	ベトナムにおけるコウモリ由来レオウイルス感染症の疫学調査	播磨 勇人	東京農工大学農学研究院・助教	阿部 遥	新規	
2025-Kyoten-02	ケニアにおける非結核性抗酸菌症の疫学的実態の解明	南宮 湖	慶應義塾大学医学部感染症学教室・講師	齊藤 信夫	新規	
2025-Kyoten-03	ケニアにおける動物・ヒトを対象とした人獣共通感染症の血清疫学調査	早坂 大輔	山口大学共同獣医学研究科 獣医微生物学分野・教授	井上 真吾	新規	
2025-Kyoten-04	ベトナムにおける下痢症起因細菌のフィールド研究	井口 純	宮崎大学 農学部 畜産草地科学科・准教授	長谷部 太	継続	2023～
2025-Kyoten-05	ケニアにおけるワンヘルスな視点からのロタウイルス流行株の解析	河本 聡志	大分大学 グローカル感染症研究センター ワンヘルス研究部門・教授	金子 聡	継続	2024～
2025-Kyoten-06	ケニアのコウモリにおけるフィロウイルス感染症の疫学調査	梶原 将大	北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所・准教授	安田 二朗	継続	2024～
2025-Kyoten-07	新しい結核診断法の開発に向けた、ケニア共和国における試験検討	松本 壮吉	新潟大学医学部・教授	濱野 真二郎	継続	2023～